

令和4年度

事業報告書

第 51 期

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

社会福祉法人 わかば福祉会

富山県富山市下堀8番地

目 次

社会福祉法人わかば福祉会概要	2
--------------------------	---

各事業所別事業報告

法人総括	4
わかば保育園	8
はりはら保育園	12
しんでん保育園	16
石金こども園	20
下堀こども園	24
わかばにこにこ園	28
きぼう保育園	30
わかばさくらんぼ園	33
わかば学童クラブ堀川園	35
わかば学童クラブはりはら園	36
わかば学童クラブ下堀園	37
わかば子育て支援センター	38

1. 法人概要

法人名	社会福祉法人 わかば福祉会
法人設立年月日	昭和 47 年 3 月 21 日
代表者名	理事長 小島 伸也
法人所在地	富山県富山市下堀 8 番地
電話番号・FAX 番号	電話：076-481-6823 FAX:076-481-6826
従業員総数	275 名（令和 5 年 3 月 31 日現在）

2. 理 念

親子の幸せに貢献する

＜基本方針＞

未来に向かってぐんぐんのびる 輝く希望の木になろう

おかえりなさい

いつまでも わかばは 心のふるさと

いつまでも ほっとできる場所

共に泣こう 共に笑おう 共に育っていこう

手を取りあって

喜びも 不安も 共に分かち合います

きらめく瞳

ゆたかな心と生きる力を育てます

つながる心

出会って生まれえた愛を育んでいきます

3. 沿 革

昭和 43 年	4 月	わかば保育園 開設
	11 月	わかば保育園 認可（定員 40 名）
昭和 44 年	4 月	わかば保育園 増築（定員 40 名から 55 名へ）
昭和 47 年	3 月	社会福祉法人わかば保育園 設立 理事長に高尾捨太郎が就任
	4 月	わかば保育園 増築（定員 55 名から 100 名へ）
昭和 49 年	4 月	わかば保育園 増築（定員 100 名から 120 名へ）
昭和 51 年	4 月	わかば保育園 定員変更（定員 120 名から 150 名へ）
昭和 55 年	11 月	第 2 代理事長に野口直美が就任
昭和 57 年	4 月	わかば保育園 改築（定員 150 名から 120 名へ）
平成元年	11 月	わかば保育園 増築
平成 8 年	11 月	第 3 代理事長に小島葉子が就任
平成 9 年	4 月	わかば保育園 定員変更（定員 120 名から 150 名へ）
		わかば学童クラブ堀川園 開園
平成 13 年	4 月	わかば保育園 増築（定員 150 名から 170 名へ）
	7 月	わかば学童クラブ布瀬園 開園
平成 15 年	4 月	はりはら保育園 開園（民営化受託）
		第 4 代理事長に小島伸也が就任

平成 17 年	4 月	わかば学童クラブはりはら園 開園
平成 20 年	4 月	わかば保育園 定員変更（定員 170 名から 150 名へ）
平成 21 年	4 月	しんでん保育園 開園（民営化受託）
平成 27 年	4 月	わかば保育園 新築移転（定員 150 名から 194 名へ）
	5 月	わかばにこにこ園 開園
平成 28 年	3 月	わかば学童クラブ布瀬園 廃止
平成 28 年	4 月	きぼう保育園 開園
平成 30 年	4 月	石金こども園 開園（民営化受託）
		わかば学童クラブ下堀園 開園
令和 2 年	11 月	下堀こども園 開園
令和 3 年	4 月	わかば保育園 定員変更（定員 194 名から 195 名へ変更）
	4 月	わかばさくらんぼ園 開園

4. 事業内容

○第二種社会福祉事業

- 幼保連携型認定こども園（わかば保育園）
- 幼保連携型認定こども園（はりはら保育園）
- 幼保連携型認定こども園（しんでん保育園）
- 幼保連携型認定こども園（石金こども園）
- 幼保連携型認定こども園（下堀こども園）
- 小規模保育事業 A 型（わかばにこにこ園）
- 小規模保育事業 A 型（わかばさくらんぼ園）
- 放課後児童健全育成事業（わかば学童クラブ堀川園）
- 放課後児童健全育成事業（わかば学童クラブはりはら園）
- 放課後児童健全育成事業（わかば学童クラブ下堀園）

○公益を目的とする事業

- 事業所内保育事業（きぼう保育園）

○委託事業

- 地域子育て支援拠点事業（わかばにこにこ園併設子育て支援センター）

令和4年度 わかば福祉会 事業報告

1. 基本総括 ―こども・子育て家庭を巡る社会の動向―

新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類相当」に変わり、3密回避やマスク着用などが緩和され任意となった。急速に生活が「復興」しつつあるが、引き続き感染症対策に留意しながらの事業展開が求められる。

2022年の出生数が初の80万人割れ（厚生労働省の人口動態統計（速報値、外国人を含む）となった。国の推計より11年早かった。富山県の出生数は6,432人であった。コロナ下で児童虐待の通告は全国で11万5762件と過去最多となり、同様に富山県でも444件で過去最多であった。また、全国で2022年に自殺した小中高生は過去最多の512人（小17人、中143人、高352人）となり、こども・子育て家庭を巡る状況は深刻化している。

本年4月「子ども家庭庁」が誕生した。次元の異なる少子化対策の実現に向けて、こども・子育て予算の倍増を掲げている。2030年は少子化対策の分水嶺となり、これからの6～7年が少子化傾向を反転できるかどうかのラストチャンスと位置づけている。こども・子育て支援加速化プラン（今後3年間）では「75年ぶりとなる保育士の配置基準の改善」「就労要件を問わないこども誰でも通園制度（仮称）の創設」などが検討されている。

富山県政においては2023年度、子育て世帯や子どもへの支援に注力し、過去最大の386億円を関連予算に充てた。子育て支援ポイントを新設し（子ども一人3万円に統一）、富山児童相談所や不適切保育の未然防止研修等を盛り込んだ。

新田新知事の誕生とともに富山市において藤井裕久市長が誕生し、県政・市政の動向が注目される。

他方、こども家庭庁は、脅迫的な言動や配慮に欠ける対応など「不適切な保育」が昨年1年で914件確認されたとする実態調査をまとめた。うち90件は激しく揺さぶるなどの虐待と判断した。子どもの安全を脅かす実態が浮き彫りになった。

富山市では本郷町保育園の虐待問題で運営法人に改善勧告。市は「園長が不適切保育の報告を受けたのに対応を怠った」として改善を求める項目として①再発防止に向けた規定の見直し、②不適切保育を防ぐための担当職員の配置、③園長と職員の資質向上などを挙げた。勧告に従わない場合は改善命令や業務停止命令を検討する。

富山県は行政指導で①内部の通報体制や初動対応を園則や園の運営規定に盛り込み職員に周知すること②管理運営体制については理事長と園長の役割の明確化に触れ、それぞれ専任で配置することを含めての検討③職員対象の倫理研修や指導的な立場の職員の増員を求めた。県は通常は指導内容を公表していないが、「園児への虐待という重大性を考慮したとしている。

当法人は、常に「親子の幸せに貢献する」ために何をなすべきかを考え、各種事業に邁進してきた。

重点① 子ども・子育て支援新制度や社会福祉法人改革、自然災害などの被災地支援など社会の要請や地域ニーズへ対応した保育の取り組みや事業等の展開をすすめた。

② 子育て関係者など広く県民や地域社会に向けて養護と教育が一体となった「保育」

の機能・役割についての理解を広げた。

- ③ 地域において、保育所が中心となり「保育の出前」活動に積極的に取り組み、子育ての喜びや楽しさを伝えるとともに、子育てニーズや問題発見、発掘に努めるとともに、各種団体との連携により解決を図るよう努めた。
- ④ 幼保連携型認定こども園保育要領を積極的に実践し、学校教育との連携を進めた。「幼児教育センター」と一体となって、幼児教育の質の向上をめざした。
- ⑤ 保育ソーシャルワークの研修等を通じて、相談援助技術の向上を図った。
- ⑥ 認定こども園等の自己点検や第三者評価の仕組みを利用した保育の質の向上へ取り組んだ。
- ⑦ 富山市認定こども園協議会の強化を図るとともに組織強化を務めた。

2. 会 議

(1) 評議員会・理事会等

- 令和4年6月7日 第1回理事会（令和3年度事業報告・決算等）
- 令和4年6月24日 定時評議員会（令和3年度事業報告・決算、理事選任）
- 令和4年7月11日 第2回理事会（令和4年度補正予算、学童クラブ堀川園公告等）
- 令和4年8月5日 第3回理事会（学童クラブ堀川園入札資格審査・業者決定）
- 令和4年8月26日 第4回理事会（学童クラブ堀川園工事請負契約締結）
- 令和5年2月1日 第5回理事会・書面決議（基本財産処分承認、評議員選定等）
- 令和5年2月16日 評議員選任・解任委員会
- 令和5年2月28日 第2回評議員会・書面決議（基本財産処分承認、定款変更等）
- 令和5年3月20日 理事会（令和4年度補正予算、令和5年度事業計画・予算等）

3. 役員会等

(1) 施設代表者会議 【原則として月1回開催】

(2) 監事会 【期日：6月（令和3年度事業報告及び決算監査）】

(3) 経営委員会及び研修委員会

① 経営強化・事務部会議

【随時開催】組織基盤強化・体制整備、等組織全般の強化、推進

② 8園（連携・研修）会議

【随時開催】方針の具体化、個別園の状況把握と問題解決、研修会等の企画

(4) 放課後児童健全育成事業運営委員会【クラブごとに年1回実施】

(5) 第3者委員会（各保育園単位）

4. 事業内容

- (1) 法人内研修の実施 井桁容子先生研修会「0, 1, 2歳児の丁寧な保育」
- (2) 8園（わかば保育園、はりはら保育園・しんでん保育園・石金こども園、下堀こども園、わかばにこにこ園、きぼう保育園、わかばさくらんぼ園）の協力体制を確立
- (3) 保育事務、保育打合せ、記録等の就業時間内業務遂行
- (4) 未来委員会活動の推進

- (5) 事業規模を拡大し、安定経営の前進
- (6) 「保育の出前」の推進
- (7) 「14歳の挑戦」等次世代の子育ての担い手養成や子育てボランティアの受入れと育成
- (8) 保育教諭等の人材の確保・定着・育成（新人保育教諭 11 名、年度途中採用 8 名）・「新人保育教諭の家賃補助の創設」・新人研修の強化
- (9) 給食の自主献立の推進・メフォス委託の実施

5. 環境の整備

- (1) わかば学童クラブ堀川園（ステップ）の建て直しと高学年学童堀川園（ジャンプ）の完成
- (2) わかばにこにこ園の防水・外壁塗り替えの終了
- (3) しんでん保育園トイレ補修
- (4) はりはら保育園 2 階保育室床補修
- (5) 下堀こども園の病児・個配・医療的ケア保育室の基本設計をつくり予算要望をしたが通らなかった。
- (6) はりはら保育園建て替えの素案作成、地主交渉

6. 表彰の推薦

富山市認定こども園協議会、県社協会長表彰、全保協会長表彰等について、保育所運営及び本会事業貢献者等の推薦を行った。

7. 市と県の保育組織・経営組織との連携、協働関係の推進及び関係行政との連絡調整、地域子育てネットワーク構築のため地域関係機関・組織との連携、協力を進めた。

8. 事務部の取組

- (1) 勤怠管理システムを導入し労務管理の正確化及びクラウド化を図った。
- (2) 富山県保育士・保育所支援センター及びとやま U ターンガイドへの求人掲載や職員採用 PR 動画を制作・HP に掲載し、広域圏を含めた保育人材の確保を図った。
- (3) 広報・宣伝活動として富山市子育て支援ガイドブックへの広告掲載や 2022 年度福祉のお仕事フェア inTOYAMA（7 月及び 12 月）へ出展した。
- (4) 新卒者の定着を図るため 6 月に新卒採用者の面談の座談会を開催した。
- (5) 新人研修を令和 5 年 3 月 23 日～31 日（内 6 日間）の日程でおこなった。24 日は外部講師を招き、マナー研修をおこなった。
- (6) 片山学園、富山第一高等学校、富山いずみ高等学校のフィールドスタディの受入れや富山信用金庫新卒職員の職業体験研修の受入れをおこなった。

令和4年度 社会福祉法人わかば福祉会 児童在籍・特別保育の事業実績数

(単位：人)

		令和4年度	令和3年度	令和2年度	対前期増減数	対前期比率
2・3号	0歳児	702	756	769	-54	92.9%
	1・2歳児	3,512	3,451	3,103	61	111.2%
	3歳児	1,892	1,841	1,720	51	107.0%
	4・5歳児	3,583	3,463	3,632	120	95.3%
計		9,689	9,511	9,224	178	101.9%
1号	満3歳児	55	105	134	-50	52.4%
	3歳児	298	252	320	46	118.3%
	4歳児	233	182	184	51	128.0%
	5歳児	228	171	116	57	133.3%
計		814	710	754	104	114.6%
総合計		10,503	10,221	9,978	282	102.8%
延長保育		12,118	11,309	11,300	809	107.2%
休日保育		339	435	464	-96	77.9%
一時保育		315	168	392	147	187.5%
年末保育		52	41	78	11	126.8%
延べ利用人数	学童	21,017	19,296	17,967	1,721	108.9%
	支援センター	5,586	5,157	6,834	429	108.3%

令和4年度 基本方針に対する到達点

わかば保育園

ねらい	施策	到達点
1、質の高い保育の実現の為に	☆保育の質の向上をめざして☆ 各クラスリーダーを中心に保育の現場の中で、共に切磋琢磨し今まで積み上げてきたスキルをさらに確実なものとしていけるよう連携を大切にしていきたい。また、一人一人の子どもの姿・心に寄り添い、主体的に遊べる環境設定、日々の生活や行事の中での育ちのねらいを丁寧に考えていく。子どもも職員も“楽しい”と思える保育園を目指していく。 ☆保護者とともに☆ 見守りが必要な家庭、1人親家庭等様々なケースへの専門的対応が必須であるが、すべての保護者へ子育ての楽しさを伝え、思いを共有し寄り添う事で保護者自身の子育ての力を引きだしていく。	コロナ禍の過ごし方にも工夫が多く見られた。子ども達の体験を大切に捉え保育を実践してきたと思う。行事については職員間でよく話しあい、より良い方法での取り組みができたと思う。また、日常の保育の中で、環境を丁寧に見直す機会を多く持てたと感じる。 保護者との連携では個別懇談会を全クラス、年長児クラスはクラス懇談会を行い、就学に向けて疑問や不安事など保護者同士の交流の場が持てた。次年度は交流会等も取り入れていきたい。 クラスだよりドキュメンテーション記録掲示など多く取り入れ園の子ども姿を知らせていくことで、子どもの姿を共有し、成長を感じられるよう工夫していった。 様々な配慮の必要な子が増えているため、まず保護者の話を傾聴することを心がけ、対話の時間を大切に育ちや関わりについての悩みに丁寧に応えていけるようにした。
2、施設の役割・あり方	☆地域への貢献と関係機関との連携 高齢者施設に訪れたり、知域の高齢者サロンに出向いたりすることはできないが、新たな連携を模索する。また富山市が実施する「わがまち・わがごと・まるごと地域モデル事業」は継続しているため、地域の良さ、課題を話し合う事で、園として貢献できることを考えていきたい。小学校との連携や個別に配慮が必要な子どもの育ちを大切にし、保健センターや恵光学園、県リハ等との連携継続、その他見守り家庭等、市役所や児童相談所との情報共有を強化していく。	地域民生児童委員、保健推進委員の方との関係が深まり、年に数回の訪問や行事参加など園を知ってもらう機会が増えてきた。コロナ禍でできなかった他の地域交流も再開できたらよいと考えている。 保健センターとの連携では育ちに気がかりな事があるお子さん・保護者の方の支援の側面から協力体制を話す機会があった。さらに園として貢献できる事を引き続き考えていきたい。 また、児童相談所や富山市こども健康課とは、泣き声通告事案や見守り家庭について、ケース会議をしながら情報共有する機会が増えた。今後も適切な対応ができるようしっかり連携していきたい。
3、人材育成・研修	☆育ちあう職員集団に☆ 職員間のコミュニケーションを大切に信頼関係を構築していく。また、学年会議や部門会議、各種会議・ゼミをなどの持ち方を工夫し、職員間で前向きな意見が言いやすい風通しの良さと、共感することを大切にしていく。	クラス会議は充実していたが、全体の昼礼など、リアルタイムでの発信することが難しい場合は伝達事項を書面にしたり、時間差、交代制にするなど会議の持ち方を工夫していった。 正規・臨時・パート職員や資格、職種の異なる職員すべての学びに繋がるよう、オンライン研修を有効活用していった。特に看護部が行う研修によく活用した。

	☆リーダーの育成と研修制度 代表者会議をはじめ、各部門の現状や課題を話しあう機会を多く持つことで業務に対する役割を確認しリーダーシップを発揮できるようにする。互いの保育観や職員の思いを代弁することに繋げていく。各職員が必要なスキルに応じた研修に参加できるよう配慮する。 オンライン研修を取り入れ、正規以外の職員や他職種の職員にも学びの機会を設けていく。	代表者会議では、各部門の担当リーダーが中心となり発信することによって、子どもの育ちや家庭状況など共通理解でき、しっかりと対応できていた。また職員や保育についてもそれぞれの思いを尊重しながらアドバイスやフォローができるよう対話の時間を大切にしてきた。 リーダーが各保育室に入り一緒に保育することによって困りごとに早期に気づきアドバイスすることで解決したり、安心感も得られたようだ。
4、働き方改革と処遇改善	☆働きやすい職場環境にするためのさらなる工夫☆ 職員の子育て、介護など家庭の事情を配慮し、多様な働き方があることを職員間で理解、尊重しフォローしあえる職員集団でありたい。また、業務の効率化や行事内容の見直しを行い、事務時間の確保とノンコンタクトタイムを基本に、確実に休憩をとる事、年次休暇取得率向上に努めたい。また日々の教育・保育の振り返りの時間がとれるようにしていく。 ☆にこにこ園との連携 連携園として引き続き、協力体制の強化を図る。（柔軟な人員配置や行事の参加、職員間の交流、進級等を見据えた交流、会議内容の共有など）	事務時間を有効に使い保育の準備を就業時間内に行うが事が増えてきたが、行事先は作業量が多い為、職員間で役割分担しながら互いにフォローしあえる環境を整えていった。 年次休暇の取得は計画的にと考え推進してきた。職員同士が互いに協力し、休暇が取りやすい環境になってきた。さらなる取得率アップに繋がってきたい。 行事の協力も含め、にこにこ園との連携は良好であり、柔軟な対応ができていたと思う。今後もコミュニケーションを大切に、様々な交流をしていきたい。
5、施設改修等	☆小さな改善の積み重ね 用務会議の実施高所等清掃が行き届かない箇所の定期的に業者委託。 ☆防犯・災害対策の強化 災害用品の備蓄をする。防犯カメラ増設。	日々の安全点検は丁寧に行い、職員からの要望など汲み取り、スムーズに環境整備や、修繕等を行えたと思う。 年間の業務計画等、用務さんからの提案も多くとても良かった。樹木の管理や高所の清掃など定期的に行った。 園庭側に駐車場に向けての防犯カメラ 1 台増設した。

令和4年度 事業報告

わかば保育園

- 4月 進級式 入園式
年中・年長児遠足 園児検尿 視力検査
- 5月 年少児遠足 芋苗植え
3歳未満児保育参加
年長児お泊り保育（立山青少年自然の家） ファミリーデー
- 6月 内科検診 眼科検診 歯科検診 運動能力測定
幼児保育参観 父母の会総会（書面決議） プラネタリウム鑑賞（年長児）
3歳未満児個別懇談会 年少児個別懇談会 防火教室
- 7月 竹馬作り（クラスごと） 盆踊り・夏祭り
七夕の集い プール開き
年中・年長児個別懇談会 14歳の挑戦
- 8月 同窓会
- 9月 年中児ナイト保育
- 10月 運動会（3,4,5才）
芋掘り 2歳児親子遠足 幼児遠足
焼きいもパーティー 幼児保育参加 運動能力測定
- 11月 3歳未満児個別懇談会 歯科検診 内科検診 視力検査
- 12月 生活発表会（2歳児、幼児）…婦中ふれあい館
年長児個別懇談会 クリスマス会
- 1月 新年お楽しみ会 年少・年中児個別懇談会
- 2月 節分の集い 雪遊び遠足 ねはんの集い（年長児）
防犯教室
- 3月 ひなまつりの集い
お別れ会 卒園式 修了式

令和4年度 児童在籍・特別保育の事業実績数(わかば保育園)

	2・3号					計	1号				計	総合計	延長保育			休日保育	一時保育	年末保育	病児・ 病後児
	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児	満3歳児		3歳児	4歳児	5歳児	標準			短(前)	短(後)	1号				
4月	5	60	37	73	175	0	4	4	4	12	187	205	4	5	85	14	5		4
5月	6	61	37	73	177	0	4	4	4	12	189	190	1	5	97	6	0		8
6月	7	61	37	73	178	0	4	4	4	12	190	214	20	34	82	8	5		6
7月	8	61	37	73	179	0	4	4	4	12	191	173	3	0	145	19	4		9
8月	10	61	37	73	181	0	4	4	4	12	193	106	5	0	100	14	1		7
9月	12	61	37	73	183	1	4	4	4	13	196	174	5	0	102	14	0		3
10月	14	62	37	74	187	1	4	4	4	13	200	189	4	9	103	24	10		11
11月	16	62	37	74	189	1	4	4	4	13	202	164	9	3	108	30	5		3
12月	17	62	37	74	190	2	4	4	4	14	204	235	14	24	145	16	17	24	7
1月	18	62	37	74	191	2	4	4	4	14	205	187	24	26	132	13	8		5
2月	18	62	37	74	191	2	4	4	4	14	205	167	18	24	123	11	13		9
3月	18	62	37	74	191	2	4	4	4	14	205	268	6	21	169	32	17		2
計	149	737	444	882	2,212	11	48	48	48	155	2,367	2,272	113	2	1,391	201	85	24	74

前年度 179 696 444 863 2,182 11 36 49 70 166 2,348 2,732 161 149 1,147 301 50 26 97

前年比 -30 41 0 19 30 0 12 -1 -22 -11 19 -460 -48 -147 244 -100 35 -2 -23

令和4年度 基本方針に対する到達点 はりはら保育園

ねらい	施策	到達点
1、 質の高い保育 の実現 の為に	※保育の質を高めよう これからの時代を生きていく子ども達に私達保育者ができること・求められる力とは何かを考えながら、質の向上に繋げていく。子ども達の「育ち」を中心ににおいて子ども達一人一人の興味・関心に目を向け、子ども達にとって必要なものへの視点を丁寧に捉えていく。子どもの気持ちに寄り添い人間関係の学びに繋がる関りを大切にする。ベテラン・中堅・若手が思い思いに子ども達の事を語りあい、保育を共有し、お互いの良さに気づき認め合い、高めあいながら共に育ちあう職員集団を目指していく。 ※保護者とともに ・保育理念の「親子の幸せに貢献する」の原点に戻り保護者の「子育て力」を育み支えるために、子どもの育ちやその意味を丁寧に伝え、共に喜び合う事を大切にする。 ※SDG sの取組みを目指して ・自然を大切にすることや人権を守ること生活を守ることなど、子ども達と一緒に保育の中できる取組みを考えていく。	・子ども主体の保育とはどんな保育なのか、保育者の思いが先行しすぎていないかを日々の保育の振り返りを大切に話しあう機会をもつようにした。また、個別に配慮が必要な子どもに対しては、人権を尊重し、できないところではなくできているところに視点を向けていくことを大切にしながら家庭背景やこどもの心に寄り添うことを心がけていった。チームワーク良くお互いの保育について気づきあったことは、その都度クラスで話し合う時間を持ち、毎朝の朝礼で確認しあうよう意識して取り組んできた。 ・個別配慮の必要な子・支援が必要な保護者が増えているため、まず保護者の話を傾聴することを心がけ対話の時間を大切にし子どもの育ちや関わり方について保育園でのスモールステップの成功体験を丁寧に伝えていけるように取り組んだ。 ・日々の保育の中で環境を通しての気づきを子ども達と一緒に考えていく時間を設けた。一人一人を大切にすること保育者同士がそれぞれの良さを認め合う、気づきを伝えあう関係性を心がけていった。
2、 施設 の役割・あ り方	※地域の子育て支援の場としての役割強化 ・保育園の魅力を発信していきながら支援の場として役割を強化する。 ※地域との繋がりを大切に連携を深める ・幼保小の連携を密に園だよりを配布したり、小学校の先生方に保育の様子を見学したり体験できる場を設けたりして園の様子を知ってもらう。 ※針原地区唯一の幼児施設としての役割強化 ・富山県リハビリテーション病院、北保健福祉センターとの連携はもちろんだが、小学校との連携もさらに深め、子どもの発達を多方面から支援していく。	・親子サークルの様子や日常の子ども達の姿をInstagramも利用し発信していくことで保護者の方の理解が深めるきっかけに繋がっている。 ・コロナの影響によって、まだ規制があった1年だったが針原小学校の学校運営委員会に月に一度参加し、幼保小の連携を図りながら、共通理解をもてるように進めていった。 ・支援が必要な家庭への地域での連携を強め、気になる姿や子育ての悩みに寄り添い、良い手立てができるように保護者との面談や送迎時に顔をみて声をかけるなど配慮を心がけた。

3、 人 材 育 成・研修	※ 先生たちも「主体性」を育て心をとくさん動かそう！！ ・「主体性」を育て保育のあり方・インクルーシブな保育について、学びを深めていく。 ※リーダーの育成 昨年に引き続きリーダー会議（副主幹以上）を1学期1回、部門リーダー会議（主幹以上）を2ヶ月に1回程度開催する。課題や議題に対する意見を持ち寄り、話し合う中でそれぞれが自分の役割を自覚し、リーダーシップを発揮できるようにする。 ※おおいに語り合う会議・ゼミにしよう ・保育の振り返りを通して子ども達の育ちや何に夢中になっているのか心が動いている姿を捉え、保育の語り合いを大事にしていく。	・パート、臨時、正規の立場を越えての全体ゼミ（井桁先生の研修）を受けたことをきっかけに日頃の保育を振り返り、子どもの姿を真ん中において、大人の思いが先行しないように心の育ちを保障していけるように進めていった。 部門リーダー会議（代表者会議）は、できるだけ開催するようにした。その中で、各フロアの悩みや、思いを共有するようにし、どうしたら職員がより保育を楽しみと思えるか、働きやすくなるかなどを考えた。 ・園独自の全体ゼミはなかなか進められず、オンラインをみて感想を伝えあうことでお互いの学びを共有するようにした。積極的には活動できなかったが、次年度は、職員での学びをさらに深めていけるようドキュメンテーションを取り入れながら保育の質の向上に努めていきたい。
4、 働 き 方 改 革 と 処 遇 改 善	※ノンコンタクトタイムの実現 ・書類時間（事務時間）以外に、思いを共有するためのノンコンタクトタイム取得ができるようにしていきたい。 ※有給休暇の積極的取得推進 ・継続的に計画的な有給取得をはかる。 また土日を含めて一人1回4～5連休を取得する。	・幼児クラスにおいては、担任発信でクラスとして話し合いたいことがある時や、困っている事がある時に、年間数回ではあるが、ノンコンタクトタイムをとった。正規・非正規関係なく、クラスの事について向き合って考えることができ、良い時間になったと思う。 ・継続的に計画的な有給取得をはかり土日を含めて一人1回4～5連休を取得することができた。
5、 施 設 改 修等	※防犯・災害対策の強化 ・災害用品の備蓄をする。防犯カメラ増設。 ※園舎等の整備 ・築年数が古く、様々な部分に支障が出てきているが、修繕するところは修繕し園舎を大切に使っていきたい。園内の環境を見直していく。中長期計画を視野に入れながら子どもにとっての動線や魅力ある環境地域に必要とされる園舎づくりを考えていく。	・災害用品の備蓄については、備蓄品にの検討はできたが、備蓄倉庫を設置する必要があるなど課題が残る。次年度は環境向上の検討事項で計画に取り組んでいく。 ・園庭や職員駐車場の土が減りあちこちに穴があいて凸凹しているので安全対策を進めていきたい。 ・老朽化する園舎の修繕は、1年を通して支障があるたびに改善を進め、子どもの安全を第一に整えるよう努めた。将来の中長期計画の見通しとして、地域に必要とされる園づくり目指して子ども達の環境を見直し取り組んでいく。

令和4年度 事業報告

はりはら保育園

行 事 名	予定月日	参加年齢
入園式	4月6日（水）	新入園児
進級式	4月7日（木）	年長児・年少児
年長春の遠足	4月27日（水）	年長児
年中春の遠足	5月11日（水）	年中児
年少春の遠足	5月12日（木）	年少児
年長お泊まり保育	5月26日（木）～27日（金）	年長児
個別懇談会	5月30日（月）～6月8日（水）	全園児
1歳児・2歳児保育参観	6月9日（木）～10日（金）	うさぎ・ぱんだ
	6月15日（水）～17日（金）	くま・きりん
親子竹馬づくり	6月25日（土）	年長親子
夏祭り（おまつりごっこ）	7月5日（火）～6日（水）	全園児
同窓会	——7月30日（土）——	卒園児（1・2年生）
年中お泊まり保育	—9月9日（金）～10日（土）—	年中児
2歳児保育参観（運動あそび）	9月15日（木）	2歳児・保護者
運動会	10月1日（土）	年長児・年中児
3歳児運動会ごっこ	10月6日（木）	年少児・保護者
2歳児遠足	10月7日（金）	2歳児
年少秋の遠足	10月12日（水）	年少児
年中秋の遠足	10月13日（木）	年中児
年長秋の遠足（来拝山登山）	10月14日（金）	年長児
焼き芋パーティー	10月27日（木）	全園児
年長個別懇談会	11月1日（火）～10日（木）	年長児
年少・年中生活発表会	12月2日（金）	年少・年中児
年長生活発表会	12月9日（金）	年長児
年長冬の遠足	1月12日（木）	年長児
年長クラス懇談会	1月19日（木）	年長児
2歳児保育参観（ごっこあそび）	1月20日（金）	2歳児・保護者
お店屋さんごっこ	2月15日（水）～16日（木）	幼児
お別れ会	3月10日（金）	幼児
卒園式	3月18日（土）	年長児・年中児

誕生会 月1回 避難訓練（火災・災害） 月1回 不審者対応訓練 年4回

交通安全指導 月1回 年長児活動 鍵盤ハーモニカ教室（月1回）

幼児参加活動 体育指導（月1回） 内科検診・歯科検診 年間2回 眼科検診 年間1回

令和4年度 児童在籍・特別保育の事業実績数（はりはら保育園）

	2号3号認定				計	1号認定				計	合計	延長保育				休日保育	一時保育	年末保育	期別・期数別
	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児		満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児			標準	短（前）	短（後）	1号				
4月	8	51	25	55	139	0	5	3	3	11	150	42	0	0	39	4	0	0	12
5月	7	54	25	55	141	0	3	3	3	9	150	27	0	0	24	0	1	0	13
6月	8	52	25	55	140	0	3	3	3	9	149	22	0	0	35	0	8	0	8
7月	9	53	25	55	142	0	3	3	3	9	151	48	0	1	54	0	3	0	12
8月	9	53	25	55	142	0	3	3	3	9	151	41	0	0	87	0	0	0	4
9月	9	52	25	55	141	1	3	3	3	10	151	45	0	0	32	3	1	0	14
10月	9	52	25	55	141	1	3	3	3	10	151	50	0	0	30	3	4	0	7
11月	12	53	25	55	145	1	3	3	3	10	155	39	2	0	27	0	6	0	35
12月	13	53	25	55	146	1	3	3	3	10	156	56	0	0	38	0	6	6	45
1月	14	52	26	55	147	1	2	4	3	10	157	56	4	3	19	0	0	0	38
2月	14	53	26	55	148	1	2	4	3	10	158	31	7	0	22	0	3	0	48
3月	14	53	26	55	148	1	2	4	3	10	158	43	8	1	62	0	9	0	15
計	126	631	303	660	1,720	7	35	39	36	117	1,837	500	21	5	469	10	41	6	251

前年度 151 627 332 684 1,794 27 41 38 48 154 1,948 447 5 14 499 10 52 5 224

前年比 -25 4 -29 -24 -74 -20 -6 1 -12 -37 -111 53 16 -9 -30 0 -11 1 27

令和4年度 基本方針に対する到達点

しんでん保育園

ねらい	施策	到達点
1、質の高い保育の実現の為に	※保育の質の向上をはかろう - 子どもの主体性を尊重し、子ども達一人一人の思いや子どもが持つ面白さを感じながら、保育者自身も主体的に保育できる環境を目指していきたい。またあそびを中心とした保育をする中で子ども達のこころが動く体験、笑顔が輝く活動が増えるよう、保育環境を工夫したり見直したりしていく。 - 子ども達一人一人が違うように、保育者も一人一人違い、個性がある。それぞれの保育者の良さや持ち味が活かされ、お互いに支え合う事ができる職員集団を目指す。 ※保護者とともに - 子どもの育ちを保護者と共に喜びあえるよう寄り添い、安心して預けてもらえるよう話しやすい雰囲気づくりを心掛ける。その中で、子育ての楽しさを共有し、保護者の子育て力を育み支えていく。	- 子ども達がどんな遊びを楽しみ盛り上がっているか、どんな事で困っているか、どんなところを伸ばしていきたいかを考え、一人一人に寄り添い、また子どもの目線において遊ぶ事を大切にしたい。環境面においては、子どもの目線や動線、保育者の動線を考え、より遊びが盛り上がるように環境を見直しつつ、保育者自身が思い切り楽しんで子どもと一緒に遊ぶ事で、保育の楽しさをより感じる事ができてきたように思う。行事に関しては、少しずつコロナ流行以前に戻して開催することで、保護者の方の反応も感じられ、距離も近くなったように感じる。 - 子ども一人一人の育ちはもちろんだが、保育者も育った環境、考え方などが違う。違う事が当たり前である事を受け入れ、子どもにとってどうするのが良いかを考えるように心がけた。クラス間の交流ができたクラスとなかなかできなかったクラスがある。お互いの保育を認め合い、それぞれの持ち味、良さを感じる事ができるようにしていきたい。 - 送迎時はもちろんだが、クラス懇談会・個別懇談会を通して保護者の方とは思いを伝え合う事を大切にしたい。考え方のズレを感じる事もあるが、保護者に思いを十分聞いた上で、園の思いを丁寧にわかりやすく伝えるよう心がけた。クラス懇談会に関しては、もっと開催してほしいとの要望もあるので、検討していきたい。
2、施設の役割・あり方	※地域との交流・連携 - 定期的に行われる学校運営委員会（コミュニティスクール）への参加及び、月1回の学習支援活動（学びの庭）への職員参加の継続。 - 同じ校区内にある幼稚園との交流・連携を図るとともに、保内地区民生委員・児童委員の方、町内の方との連携を密にする。 - 小学校、県リハ、恵光学園、八尾保健センター、児童相談所等との連携を強化し、子ども達の発育を多方面から支援していく。（個別配慮児、見守り家庭等の対応含む）。 - 地域ボランティアの方の協力により園舎隣で稲作・野菜作り体験を行	- 同じ校区内にあるリンデ幼稚園さんでの公開保育に参加させていただく機会があった。他園の保育を見る事は職員にとっても刺激になり、学びや振り返りにもつながった。 - 学校運営協議会への参加を含め、幼児教育・小学校教育接続推進研修会には、園から6名の職員が参加し、幼稚園・小学校の先生達と意見交換をする中で、スタートカリキュラムについて一緒に考える事ができたのは良かった。地域の方々（NSみどり会）との野菜作りは、自分が育てたい野菜を育てさせてもらったり（年長児）、四季折々様々な野菜や米を育て収穫させてもらったりする事で、子ども達は楽しみながら、食べ物のおおきさや生長を感じ、地域の方々との交

	う。それを「食育」、「SDGs」にもつなげていく。	流を深められたように感じる。また給食室ではとれた野菜を積極的に献立に取り入れ、人参の葉の素揚げ、ラディッシュのマリネサラダ、揚げじゃがなどを作ってもらい、それによってとれたての野菜のおいしさを感じる事ができ、食育にもつながった。
3、人材育成・研修	※育ち合い・認め合う職員集団に • 伝えあう事を大切に、日々子ども達の事を語り、「これってどうして?」「こんな時どうしたらいいの?」などの疑問はその都度話し合い、解決しながら子どもへの共通理解を深めることができる職員集団を目指したい。その中で困った時にはフォローし合い、職員一人一人がリーダーシップを発揮できるような環境を作っていく。 • 個別配慮児支援担当者を中心に、関わり方・支援の方法・行事への参加などについて話し合い、気にかけていきたい子たちへの理解を深め、インクルーシブ保育の実現に向けて取り組む。 • 各クラス会議・フロア会議・給食会議・リーダー会議などを定期的に行い、保育観の違う中でも、同じ方向を向いて保育できるように会議内容の充実を図る。	• 日々の保育の中で感じている事、悩みなどをなかなか発信できない職員もあるため、話しやすい環境づくりを心掛けた。とは言え、全体の中では話づらいもやもやした思いを抱えている職員もあり、話を聞く事の大切さも感じた。一人一人の職員として向き合っていく事の大切さを感じている。 • 個別に配慮が必要な子への関わりでは、子どもに対してだけでなく、保護者支援の観点でも悩んでいる職員が多く、職員の学びたいという声もあったため講師の先生を招き全体ゼミを開催した。専門の先生という事で、質問も多く出て学びも多かった。ただ、一度しか開催できなかったため、今後は計画的に開催するようにしていきたい。 • 各クラス内での話し合いは割とできていたが、3歳未満児クラスにおいては、もっとお互いのクラスの事を伝え合い、横のつながりが深まれば良かったと感じる。 • クラス会議はできるだけ毎月開催するようにしていたが、年齢別会議やフロア会議があまり開催できなかったため計画的に開催するようにしていきたい。
4、働き方改革と処遇改善	※より働きやすい職場環境を目指して • 事務時間確保と保育の準備時間の効率化を図る。 • 年次休暇取得率前年度比アップを目指す。 • 会議時間の工夫（資料を先に配布し意見をもち寄るなど、時間短縮を図る）。 • 多様化した働き方の職員がいる事について相互理解を深める。	• 事務時間は計画的に取得できるように働きかけた。またノンコンタクトタイムは、幼児クラスは割ととる事ができ、行事に向けて、また気になる子への関わりについてなど担任間で思いを共有できたように思う。 • 有給休暇は、ここ数年取得を促している事もあり、積極的に取得する職員が増えているように感じる。ただ、声をかけないとなかなか取得しない職員も数名あるので、みんなが取得しやすい環境を整えていきたい。
5、施設改修等	※安全・安心の見直し・改善点 • 倉庫増設（収納・片付け）物品を大切に扱うように整えていく。 • 幼児トイレ床の修繕 • 遊戯室、職員室のエアコンの入れ替え	• 園内全体に収納が少ない事もあり、物が片付けにくく散らかりがちである。誰が見てもわかりやすいような、片付けやすい工夫をしていきたい。 • トイレ床の修繕、職員室・休憩室のエアコンの入れ替えは完了したが、水回りはまだ気になる部分が多いので、計画的に修繕していきたい。

令和4年度事業報告

しんでん保育園

- 4月 進級式 入園式 お花見 保育参観・保護者会総会⇒書面決議
- 5月 春の遠足（ファミリーパーク） いも苗植え（年長⇒下堀と合同で） 運動能力測定
内科検診 歯科検診 園児検尿 クラス懇談会（年長） ファミリーデー
観劇の会
- 6月 花の苗植え（年長児と民生委員さん） お泊まり保育（立山青少年自然の家・年長）
視力測定 眼科検診 個別懇談会 ~~祖父母参観（幼児クラス・祖父母）~~
クラス懇談会（3歳未満児・年長） お店屋さんごっこ 自衛消防訓練
- 7月 竹馬作り プール開き こども夏祭り 14歳の挑戦（八尾中）
個別懇談会（3・4歳児）
- 8月 園外保育（年長・立山青少年自然の家） 同窓会 ナイト保育（年中）
- 9月 運動会 秋の遠足（幼児クラス）
- 10月 来拝山登山（年長） いも掘り（年長） 焼いもパーティー
運動能力測定 遠足（2歳児） 個別懇談会
- 11月 民生委員さんと球根植え（年中） 生活発表会予行練習（年長祖父母発表会）
- 12月 生活発表会（幼児） ~~椿寿荘訪問（年長）⇒ビデオレター~~ 2歳児保育参観
クリスマス会 ハートフルクリスマス（八尾観光会館・年長）
- 1月 ~~ふれあい交流会（地域の高齢者と年長）~~
- 2月 2歳児保育参観 節分の集い 冬の遠足（立山青少年自然の家）
- 3月 ~~ひな祭りの集い（地域の独居高齢者招待）~~ ひな祭りの集い お別れ会
ありがとうの会（年長児の祖父母を招いて） 卒園式

————— の行事は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止にしたもの

令和4年度 児童在籍・特別保育の事業実績数(しんでん保育園)

	2・3号				計	1号				計	総合計	延長保育				休日保育	一時保育	年末保育
	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児		満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児			標準	短(前)	短(後)	1号			
4月	0	36	24	41	101	0	6	2	3	11	112	1	0	2	17	0	0	0
5月	1	37	24	42	104	1	6	2	3	12	116	2	1	1	33	2	5	0
6月	1	36	25	42	104	1	6	2	3	12	116	5	9	1	41	1	2	0
7月	2	36	25	42	105	1	6	2	3	12	117	5	0	0	82	0	1	0
8月	5	36	25	42	108	1	6	2	3	12	120	3	0	0	147	1	1	0
9月	6	36	25	42	109	1	6	2	3	12	121	7	0	1	21	0	5	0
10月	8	37	26	42	113	1	5	2	3	11	124	8	0	2	18	0	0	0
11月	9	38	26	42	115	1	5	2	3	11	126	4	0	0	37	0	0	0
12月	10	38	26	42	116	1	5	2	3	11	127	3	0	0	35	0	0	2
1月	11	36	26	42	115	1	5	2	3	11	126	3	0	4	36	0	0	0
2月	11	35	26	42	114	1	5	2	3	11	125	3	0	0	26	0	1	0
3月	11	35	26	42	114	2	5	2	3	12	126	2	0	2	44	0	0	0
計	75	436	304	503	1,318	12	66	24	36	138	1,456	46	10	13	537	4	15	2

前年度	67	509	291	432	1,299	10	37	51	12	110	1,409	111	5	7	634	24	18	0
前年比	8	-73	13	71	19	2	29	-27	24	28	47	-65	5	6	-97	-20	-3	2

令和4年度 基本方針に対する到達点

石金こども園

ねらい	施策	到達点
1、質の高い保育の実現の為に	☆日々の教育・保育を大切に、振り返りも大事に☆ 日々、一人一人の子ども達に寄り添う保育をしてきている職員に感謝している。また、体を動かして遊ぶ大切さを職員が理解し、積極的に取り入れてくれている。今年度はそれを踏まえ、子ども達の姿から出発する教育・保育を大切にしていきたいと思っている。そこで、昨年度に引き続き、月間指導計画を作成する時間《通称月案会議》を保証し、自分たちの教育・保育を振り返り、そこから、どのように生活や遊びを発展していったら良いのかを考え、実践していけるように話し合っていきたいと思っている。また、振り返りの一環として片付けや整理整頓も怠らないように、働きかけていきたい。 個別に配慮が必要な子どもが各クラスにいるのが現状である。今まで積み上げてきた様々な対応を職員で共有し、専門機関とも連携しながら、個別配慮児を含めたクラスの子供達が生き生きと園生活を送れるよう、園全体で支援できる体制を整えていきたい。	一人一人の子どもの気持ちに寄り添う保育や体を楽しく動かして遊ぶ保育は、今年度も引き続きできていたと思う。それに加え子どもの姿から出発する教育・保育も少しずつではあるができてきており、子ども達との楽しい保育実践を1年の保育の反省会の日に報告してくれたクラスもあった。月案会議も定着しつつあり、見通しを持った保育が少しずつできてきている。振り返りの一環としての片づけや整理整頓は一人一人の職員が意識してやろうとしていたと思う。 個別配慮が必要な子どもの対応は、悩むことも多かったが、クラスだけで抱え込むのではなく、クラス会議やエリア会議で困りごとを話し合って進めていくことができたのではと思っている。それが無理のない行事の参加につながったと思っている。また、児童発達支援の施設に通う園児が増え、その施設との連携もでき始めたので、来年度にそれをつなげていきたいと思っている。
2、施設の役割・あり方	☆地域とのつながりと専門機関との連携☆ 令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の会合や行事がほぼなかったため、地域の方と顔なじみになる機会が持てなかった。令和4年度もどこまで開催されるかわからないが、積極的に会合や行事に参加し、その中で課題を見出し、石金こども園でできる地域貢献を考えていきたいと思う。 コロナ禍が影響しているのか今年度も虐待等の家庭的問題が起こりうる可能性がある。民生委員さんや児童相談所等のネットワークを大事にし、各家庭の事情を把握して、適切な援助ができるようきめ細やかに対応していきたいと思っている。	今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の会合はほとんどなかったが、地域の行事でお願いされたことは、なるべく協力するようにしてきた。また、近所の方で石金こども園のことを気にして、駐車場の植木の手入れなどしてくださる方がいらっしゃることを知り、嬉しい気持ちと感謝の気持ちでご挨拶に伺うことができたことは良かったが、なかなか地域貢献まで行うことはできなかった。 町の中にある園であるためか、虐待の疑いで通報され、児童相談所からの連絡が何件あったが、大ごとになるようなケースはなかった。見守り家庭のお子さんが今年度入園され、地域のケース会議に出席したりもしたが、園でできる範囲の援助ではあるが、安定して過ごしている。
3、人材育成・研修	☆支え合いの職員集団に☆ 石金こども園も民営化5年目を迎え、職員同士の距離が近くなり、同僚性が高まり、チームワーク良く支え合える雰囲気できてきている。しかし、若手職員のみならず、教育・保育に自信が持てない職員もあり、それぞれが一人ぼっちにならないようチームで支える体制の構築が必要である。そのためには、副園長・主幹保育教諭・エリアリーダーとの連携を図り、	今年度はより一層、職員同士の距離が近くなって同僚性が高まり、コロナの影響で大変な時も、大きな行事の時も職員みんな支え合う体制ができ、職員の方々に感謝している。しかし、職員の困り事を早めにキャッチすることは難しく、対応が後手に回ってしまい、現場が混乱してしまったこともあり、申し訳ない気持ちである。 会議はなかなか時間のない中、工夫して行うことができたのではと思っているが、

	職員の困り事を早めにキャッチし、対処するように心がけていきたいと思っている。また、全職員の参加の昼礼・学年会議・クラス会議・エリア会議・給食室会議・環境コーディネーター会議等を引き続き定期的に行い、連携を図っていききたい。今年度こそ園内研修を臨時・パート職員の方と一緒にいき、職員同士の意思疎通を図り、共通理解のもと、より同じ方向を向いて教育・保育ができるようにしていきたいと思っている。	勤務時間内での会議の時間の確保は引き続き課題だと思っている。今年度は1度ではあるが、非正規の先生方と一緒に研修会を開催できたことが良かったと思っている。また、オンラインでの研修も非正規の先生方にも参加していただくことができ良かった。
4、働き方改革と 処遇改善	☆より働きやすい職場環境と感謝の気持ち☆ 様々な家庭の事情を抱えている職員がいるのが現状であり、職員一人一人が長くやりがいを持って働き続けられるよう、それぞれに合わせた働き方を提案できるようにしていきたい。また、年次有給休暇の取得や事務時間の確保は、働きやすい職場となるキーポイントではあるが、職員の協力なくしては実現しないのが現状である。そこで、職員同士の「お互いさま」という思いと、「ありがとう」という感謝の気持ちを伝え合うことを大事にして、より気持ちよく働ける職場を目指し、子どもも職員も笑顔があふれる園にできたらと思っている。	それぞれの事情に合わせた働き方を提案し、勤務して頂けたと思ってる。また、年次有給休暇は、今までなかなか取得しようとしなかった若手の職員も自分で考えて取得するようになり、それぞれに保証することができたと思っており、事務時間も確保することが良かったと思っている。どちらも職員全体での支えなくしては実現しないことなので、「おたがいさま」という思いで支えてもらったと思っている。ただ、まだ、学年によっては、教育・保育の準備をする時間の確保が難しい時もあると思われるので、来年度以降もその時間の確保を工夫していきたいと思っている。
5、施設改修等	☆日々の安全対策と遊びの環境の整備☆ 今年度は大きな修繕等は予定していないが、日々の安全点検から見えてきた修繕や改善をしっかりと行っていききたいと思っている。また、より遊びが発展するように、必要な遊具を購入したり、園庭の築山が崩れてきているので、もう少し大きな山にし、より楽しく遊べるようにしていきたいと思っている。	石金こども園を引き継いでからの課題であった椅子とテーブルの高さが園児の体に合っていないという問題は、適正な高さの椅子を購入し、テーブルの高さを調整することで、随分解消でき良かった。また、用務の先生の提案で、プールの上に手作りの大きな日除けを設定してもらったり、駐車場の白線が薄くなってきている所を塗り直したりできたことはとても良かったと思ってる。園庭の築山の改修には着手できなかったのが、来年度の課題となった。

令和4年度事業報告

石金こども園

- 4月 進級式（各クラス） 入園式（2部制） おはなしワールド年長（東部図書分館）
視力検査 保護者会総会（書面にて）
- 5月 園児検尿 視力検査 春の遠足 年長・年中（立山総合運動公園） 年少（奥田公園・
大沢野消防署・大沢野総合運動公園）
運動能力測定 14歳の挑戦（東部中）
- 6月 内科検診 歯科検診 ~~高齢者給食会（年長）~~ プラネタリウム鑑賞（年長）
夏の自然体験（立山青少年自然の家にて）（年長）
- 7月 セタの集い（各クラス） プール開き ~~夏まつり→職員で夏祭り開催~~
保育参加（年中・年長・年少・2歳児） 14歳の挑戦（東部中）
- 8月 ~~同窓会~~ 防火教室 個別懇談会（年長・希望者）
- 9月 運動能力測定 2歳児遠足（堀川朝菜町公園・下堀こども園）
運動会（年少）→遊戯室（各クラス）
~~東部小交流会~~ 14歳の挑戦（山室中）
- 10月 運動会（年長・年中）→不二越体育館（学年ごと） ~~東部フェスタ（年長）~~
幼児遠足 年長・年中クラス（太閤山ランド）年少クラス（魚津水族館）
歯科検診 内科検診 視力検査 14歳の挑戦（堀川中）
やきいもパーティー ~~高齢者給食会（年長）~~ ~~防犯教室~~
- 11月 保育参加（0・1歳児） 石金秋祭り（2歳児・幼児クラス）
生活発表会（3歳児）
- 12月 生活発表会（年長・年中・2歳児クラス）→学年ごとに開催
クリスマス会（各学年・フロアごと）
- 1月 新年お楽しみ会（各学年・フロアにて）
年長児冬の自然体験（立山青少年自然の家）
- 2月 節分の集い（各クラスにて） 成田山節分会（年長）
山室小交流会 ~~東部小交流会~~
- 3月 ひなまつりの集い（各クラスにて） お別れ会 卒園式
終了式

※————=新型コロナウイルス感染症のため中止になった行事

令和4年度 児童在籍・特別保育の事業実績数(石金こども園)

	2・3号				計	1号				計	總合計	延長保育				休日保育	一時保育	年末保育	病児・ 病後児
	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児		満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児			標準	短(前)	短(後)	1号				
4月	8	84	52	103	247	0	5	5	5	15	262	199	26	36	133	10	1	0	10
5月	8	84	51	102	245	0	6	5	7	18	263	202	9	11	149	8	0	0	24
6月	8	83	51	102	244	1	6	5	7	19	263	202	8	14	226	7	1	0	10
7月	10	83	51	102	246	1	6	5	7	19	265	194	9	15	148	6	0	0	28
8月	11	83	51	101	246	1	6	5	7	19	265	115	1	4	198	14	3	0	30
9月	12	82	51	101	246	2	6	5	7	20	266	159	0	17	168	13	0	0	25
10月	12	82	51	101	246	2	6	5	7	20	266	156	3	23	230	9	0	0	24
11月	11	82	50	101	244	2	6	5	7	20	264	136	5	27	190	10	3	0	19
12月	12	81	51	101	245	3	5	5	7	20	265	149	1	17	147	7	0	9	24
1月	12	81	50	101	244	3	6	5	7	21	265	127	1	21	183	10	0	0	12
2月	12	80	50	101	243	4	6	5	7	22	265	146	38	27	170	17	0	0	34
3月	12	80	50	100	242	4	6	5	7	22	264	179	4	17	200	12	0	0	20
計	128	985	609	1,216	2,938	23	70	60	82	235	3,173	1,964	105	229	2,142	123	8	9	260
前年度	119	977	586	1,371	3,053	25	65	38	41	169	3,222	2,468	126	157	1,090	71	3	8	268
前年比	9	8	23	-155	-115	-2	5	22	41	66	-49	-504	-21	72	1,052	52	5	1	-8

令和4年度 基本方針に対する到達点 下堀こども園

ねらい	施策	到達点
1、質の高い保育の実現の為に	・環境を通じた保育。環境を生かしたワクワク・ドキドキする保育の展開 ・養護を基盤とした月齢別の保育を進める。(未満児) ・ものがたり保育の展開 ・こどもの主体性を尊重した保育の推進 ・遊びと生活中心の経験主義教育 ・保護者支援・保育参加を進める。 ・行事はコロナ禍で出来ることを無理なく進める。	・4年度は初めて下堀こども園が年長まで全学年が揃ってスタートした。特に年長児に関しては、下堀こども園初めての年長クラスという事で、行事などの検討も含め、職員で子たくさん話し合うことが出来た。同じ福祉会での経験を踏まえながら、下堀こども園としての行事の土台が出来たのではないと思う。まだまだ、検討が必要だが、職員や保護者の意見などを取り入れながら行事だけでなく、日々の保育も大事にしていきたい。 ・クラス交流会では、保護者同士の交流が深まり、コロナ禍ではあったが保護者も喜んでいたので良かった。 ・下堀こども園独特の作りをなかなか活かすことが出来なかったのが、今後の課題である。 ・運動会も生活発表会も、コロナ禍ではあったが工夫しながら人数制限は設けなかった。 ・未満児は少人数で、一人一人にじっくりかかわることが出来ている。今後も子どもにじっくりと寄り添い保育を進めていきたい。
2、施設の役割・あり方	・地域の皆さんとともにこども園づくりを進める。	・下堀公園の町内除草は前日に行い対応した。 ・フィールドスタディーで、片山学園・富山第一高校・いずみ高校の学生を受け入れた。今度は、小中学生との交流も進めていきたい。 ・初めての卒園児を送り出すにあたり、小学校との連携をとれるよう配慮した。小学校の校長先生には卒園式に出席していただいた。今後は幼児教育センターの訪問研修などにも来ていただいて、小学校との連携の強化をしていきたい。
3、人材育成・研修	・新人職員の育成・定着 ・職員集団で研修を進める ・園内研修と園外研修を進める。	・どのクラスも臨時職員と組むため、ベテランで頼りになるのだが、新人職員の指導に関しては課題が残った。若手ゼミでは勉強だけでなく、若手同士の交流が深まり良かったと思う。 ・副園長、主幹は自分の仕事で手一杯になり、余裕がなかったため各種会議も後手に回ることもあった。個別配慮児も増えてきて、職員同士で共通理解を図るために計画的にケース会議や部門別会議を設けていきたい。学年会議を行い、臨時職員にも参加してもらい、同じ思いで保育ができるよう

		配慮した。 ・不適切保育がクローズアップされ、自身の保育を見直す機会になった。職員同士で、意見を出し合い、風通しの良い職場作りは行うことが出来たのではないと思う。
4、働き方改革と処遇改善	・事務時間の充実 ・職員配置基準を遵守。	・事務時間は十分に取れるように配慮できた。さらに年長、年中クラスの担任は他職員より時間数を多くし、負担を軽減できるようにした。また、タッチオンタイムの導入で時間の使い方を見直し、効率よく仕事をするという意識改革になったのではないと思う。 ・年次休暇も平均10日以上取得できたと思う。
5、施設改修等	・使いづらい処を改善する。	・2階と部屋との境に引き戸を設置。気温の調節が出来るようになった。 ・給食室の水漏れがあった。
6、その他		

令和4年度事業報告

下堀こども園

4月	進級式 入園式
5月	春の遠足（年長…森の風立山・まんだら遊園 年中・年少…ファミリーパーク） 園児検尿 内科検診 いも苗植え
6月	運動能力測定 歯科検診 個別懇談会 クラス懇談会（年長）
7月	七夕の集い プール開き 年中・年長お昼寝開始 プラネタリウム（年長） 竹馬作り（年長） 夏まつり
8月	園外保育（沢）（年長）
9月	お泊り保育（年長） ナイト保育（年中）
10月	運動会予行練習 運動会（幼児） 秋の遠足（年長…富山駅・富山市立図書館 年中…薬勝寺池公園・県営渡船・ あいの風プロムナード 年少…大島中央公園） 芋ほり（しんでん・わかば合同） 焼きいもパーティー 2歳児遠足（富山県総合運動公園・四季防災館） 運動能力測定 内科検診 歯科検診 幼年消防団結団式
11月	来拝山登山（年長） 視力測定 生活発表会予行練習
12月	生活発表会（幼児） クリスマス会
1月	新年お楽しみ会 生活発表会（2歳児）
2月	節分の集い 学童・年長交流会
3月	ひなまつりの集い お別れ遠足（氷見海浜植物園・氷見番屋街足湯） お別れ会 卒園式 終了式
クラス交流会	年1回実施（年長…2月 年中…7月 年少…7月 2歳児…11月 1歳児…12月 0歳児…11月）
わんこの日	年2回実施（7月、3月）

令和4年度 児童在籍・特別保育の事業実績数(下堀こども園)

	2号3号認定				計	1号認定				計	合計	延長保育				一時保育	年末保育	病児・病後児
	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児		満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児			標準	短(前)	短(後)	1号			
4月	6	34	18	25	83	0	8	6	1	15	98	61	37	2	63	10		10
5月	6	34	18	26	84	0	8	5	3	16	100	63	38	8	76	14		24
6月	7	34	18	28	87	0	8	5	2	15	102	87	39	9	63	7		7
7月	9	34	19	28	90	0	7	5	2	14	104	64	25	10	63	9		45
8月	10	34	19	28	91	0	6	5	2	13	104	84	26	20	144	1		23
9月	10	34	20	27	91	0	6	5	3	14	105	124	1	18	48	2		13
10月	10	34	20	27	91	0	6	6	3	15	106	95	8	6	65	0		21
11月	10	34	20	27	91	0	6	5	2	13	104	91	15	6	47	4		14
12月	11	34	20	26	91	0	6	5	2	13	104	96	9	3	64	0	9	14
1月	11	34	20	26	91	0	6	5	2	13	104	80	21	9	38	5		15
2月	11	34	20	27	92	1	6	5	2	14	106	68	9	6	45	6		28
3月	11	34	20	27	92	1	6	5	2	14	106	109	14	7	58	17		19
計	112	408	232	322	1,074	2	79	62	26	169	508	1,022	242	104	774	75	9	233

令和4年度 基本方針に対する到達点

わかばにこここ園

ねらい	施策	到達点
1、質の高い保育の実現のために	◎安心、安全、家庭的な雰囲気大切に 新メンバー体制でのスタート。子ども達にとって居心地の良い空間となるよう、まずは職員同士のコミュニケーションを大切にしていける。小規模保育の良さを活かしながら、子ども主体の丁寧な保育を心がける。職員全体で子どもの成長を喜びあい、ラベル付けすることなく一人一人の個性を大切に、日々の温かな会話を大切にしていきたい。保護者の不安や心配を考慮しながら、少しでも多くの園内情報を発信していけるようスピード感をもって対応していきたい。	保育士の平均年齢が若干若くなり、男性保育士も加わったことで更に活気のある園となった。職員同士のコミュニケーションを大切にすることから、子どもの主体的な動きや活動においても意識することができるようになり、過ごしやすい雰囲気作りができたと感じる。 with コロナの環境に慣れ、保護者参加の行事を行うことで、保護者との信頼関係も深まり、温かい保育を継続することができた。今年度は、産休育休に入る保護者が多く、悩みを抱える家庭が多くあった。送迎時の会話から一早く気づいてあげることができ、すぐに対応できたのは良かった。又、園内には支援センターもあるのでセンターの職員と連携しながら、温かく親守を見守ることができた。 親子遠足や、園外保育等、時期を逃さず楽しむことができたのは、職員同士の連携がうまくいっていたからだ感謝している。
2、施設の役割・あり方	◎地域に根ざした暖かい保育園づくり 神宮寺にお参りの方や地域の方、業者さんの訪問や電話対応など、職員一人一人が明るくきちんと対応することを心がけていきたい。又、基本的な事ではあるが、職員の言葉遣いや身だしなみにおいても再度確認し、イメージを大切にしていきたい。 施設見学の親子は緊張しながら訪問される方もいるので、温かく迎え入れ、一時保育や支援センターの存在を知らせながら情報提供を心がけたい。	小規模園には遊戯室や園庭がない分、どんどん外に行き気分転換に出かけた。ハロウィンには、子どもや職員全員で仮装をし、地域に出向いた。又、勤労感謝の日にちなんで、美容院や業者の方にプレゼントをすると喜んで下さり、子ども達も嬉しい気持ちになった。人と触れ合うことの大切さを感じ取る良い機会になった。 一時保育利用の家庭で、第2子出産後母親が鬱になり、その後父親も体調不良を起こすという事例があった。保育が厳しい中でも半日だけ預かるなど、工夫しながら一時保育を受け入れてきた。
3、人材育成・研修	◎0、1、2歳児一人一人の『らしさ』を追求する 新人保育士もいる中で、職員全体で乳児保育の学びを深める機会を積極的に行ってきたい。子どもの月齢にあった対応は、発達優先を取りをするということではなく、子どもに寄り添った関わりをするということをモットーに取り組んでいく。又、「させなきゃいけない」という誤った保育とならないよう話し合っていきたい。その中で、子ども一人一人の「らしさ」を認め、「その子の良さ」として見守っていけるような雰囲気づくりをしていきたい。又、職員一人一人の気づきやアイディアを活かし、園全体で楽しみながら、達成感と自信に繋げていけるよう盛り上げていきたい	毎月のクラス会議では、年齢ごとの月案を検討し、その時のクラスの状況や一人一人の子ども様子をクラス担任全員で話し合った。担任の思いと、客観視する者（園長、主任）との思いを伝え合うことで、その都度環境を見直すことができた。その継続こそが、園全体の職員の意識へとつながり、子どもの成長にも影響が出るのだということを感じた。 今年度は福祉会研修において、非正規職員も積極的に研修に参加される姿があり、良い機会だった。正規職員と非正規職員の保育への共通理解は、子どもの育ちにとってとても重要であると改めて感じている。「しなければならない」保育はない。常に子どもの心に寄り添った、その先につながる保育を行えるよう意識していきたい。
4、働き方改革と処遇改善	◎様々な働き方と効率の良い仕事 職員の様々な働き方を理解し、協力しながら働きやすい環境を整えてく。又、体制に困ったときは、わかば保育園職員と連携を図り、互いに補っていききたい。事務時間のとり方を工夫し、効率の良い仕事ができるように配慮する。又、年次有給休暇は計画的にとれるようにする。	子育て家庭の職員が多く、休みが重なることもあったが、職員の保育力がついてきていることと、支援センターの職員の協力があつたことで困難をのりこえることができた。空いた時間を工夫しながら事務時間をとることができた。コロナ特休にも対応でき、年次休暇も順調に取ることができた。
5、施設改修等	◎保育を充実させるための環境作り 片づけが苦手な職員も整理整頓がしやすいよう、棚や押し入れの収納を工夫していく。 園舎の整備：外壁塗装、屋上の防水工事	外壁塗装、屋上の防水工事、子ども用トイレの暖房設置、扇風機のとりかえを行った。

令和4年度 事業報告

わかばにこにこ園

4月	お花見散歩	全園児
6月	クラス懇談会	全保護者
7月	七夕の集い	全園児
	水遊び	全園児
8月	夏祭り	全園児
	保育参加	1.2歳児
9月	親子遠足	1・2歳児親子
	保育参加	0歳児
10月	にこにこ運動会	全園児
	ハロウィンパーティー	全園児
11月	園外保育	うさぎ組
12月	クリスマス会	全園児
1月	新年お楽しみ会	全園児
2月	節分の集い	全園児
	お店屋さんごっこ	全園児
3月	ひなまつりの集い	全園児
	ありがとうお別れの会	全園児

1, 2歳児親子遠足は、県立植物園へ。

1,2歳児全員参加。

勤労感謝の日
ちなन्द、美容院
やオムツ屋さん
にありがとうの気

- ※誕生会は個人にあわせて各クラスで実施
- ※健康診断・歯科検診はどちらも春・秋に各1回実施
- ※眼科検診は春1回
- ※身体計測は月1回実施
- ※検尿は年1回(4月)
- ※避難訓練(火災と災害)は月1回、不審者対応訓練は年4回実施
- ※交通安全指導は月1回
- ※個別懇談会(春は希望者のみ・冬は2歳児のみ)

令和4年度 児童在籍の実績数								
	0歳児	1歳児	2歳児	合計	延長	一時	休日	年末
4月	2	6	6	14	17	0		
5月	3	6	6	15	5	5		
6月	4	6	6	16	1	4		
7月	4	6	6	16	2	0		
8月	5	6	6	17	6	2		
9月	5	6	6	17	1	0		
10月	5	6	6	17	3	3		
11月	5	6	6	17	5	2		
12月	5	6	6	17	7	1		2
1月	6	6	6	18	4	0		
2月	6	6	6	18	8	5	1	
3月	6	6	6	18	8	3		
合計	56	72	72	200	67	25	1	2
前年度	44	72	72	188	69	22	0	0
前年度比	12	0	0	12	-2	3	1	2

項目	ねらい・重点施策	到達点
1、質の高い保育の実現の為に	1、保育の進め方 ・小人数ならではの家庭的保育を継続して行う。 ・子どもひとり一人に応じたきめ細かい保育を目指す。 (子どもの声をしっかり受け止められるように) ・0.1.2歳児の異年齢の子どもたちがそれぞれの生活に無理のないように過ごす工夫を行う。(人的環境、室内環境等) 2、保護者支援 ・コロナ禍でなかなか送迎時に話は出来ないが、必ず担任が会える利点を生かし、保護者の気持ちや悩みに寄り添い、共に子育てをし、共に育ち合う保育をめざす。(きっぷずノートの活用)	☆子ども一人ひとりのその時期の様子など、職員全員で共有し、同じ思いで子どもに向き合えるように、話し合いを密に持つようにした。 ☆少人数での保育のため子ども一人一人の思いややりたい遊びを汲み取りながら保育を進めて行くことができたと思う。甘えが強くなる時もあったが、その子がその時に求める保育士がしっかり向き合うようにし他の職員はカバーに入るようにした。結果安定した生活が送れるようになったので、小規模ならではの役割分担が出来たと思う。 ☆室内環境も、その時期のこどもの興味に合わせていろいろ変化させていった。 ☆今年度は玄関の中まで入ってもらい、毎日担任が送迎時に保護者と話す機会を持てる環境を作った。子ども達の成長を共に喜び合い、子育ての悩みを共有することができて、良かった。 ☆朝泣いてしまう園児に、保護者のかたも不安になっていたことがあり、きっぷずノートで日中の様子を知らせ安心してもらえるようにした。また新入园児の初登園なども、写真や動画を配信し、保護者の方に喜んでもらえた。
2、施設の役割・あり方	1、「ホクタテ」さんとのつながりを大切に ・今は行事等の参加も控えていただいているが、さまざまな協力をいただいている「ホクタテ」さんとの関係を今後も大切につなげていく。 ・ホクタテの食堂の利用の仕方を検討する。 2、地域との交流 ・園庭が無い為、近くを散歩したり、公園に行ったりと出掛ける機会を多く持つ。新しい場所も模索していく。 ・散歩の際は地域の方と挨拶を交わしたり、触れ合いを大切にしている。	☆少しずつ始めた行事の中で、駐車場をお借りしたり、サンタさんや鬼さんになってもらったり、またクリスマスプレゼントに1冊ずつ絵本を買ってもらったりと、いろいろな面で協力していただいた。ホクタテさん側から提案してくださることもあり、友好的関係は築けていると思う。 ☆天候が悪く戸外に出られない時には、会議室や階段などを使わせてもらったり、食堂にお邪魔したりした。 ☆園庭がないため、天気の良い日は積極的に散歩に出かけたり、近くの公園に出向き、体を動かして遊ぶことができた。公園によって遊ぶ用途が違うので、目的を持って行き先を選んだ、年齢差があるため、時には、2グループにわかれて行動することで、子ども達に無理をさせないようにすることができた。 ☆散歩の際には、地域の方や他園の方への挨拶をしっかり行い、温かく見守っていただけ良かった。
3、人材育成・研修	1、リーダーの育成 ・小さな集団の中で司令塔となるリーダーを中心に、それぞれの役割分担を考え効率的に保育が出来るようにする。 2、会議の充実 ・日々の会話の中から、また定期的に時間を作り職員全員参加で、子	☆主任が二人いることで、関係性が難しいこともあったが、片方がリーダーシップを取ってまとめてくれたので、生活、行事等はスムーズに進むことができた。また他の職員がその日のリーダーが動きやすいようにカバーしてくれることで、子どもたちをあまり待たせることなく過ごすことが出来たので、チームワークはとても良かったと思う。

	どもひとり一人を共通理解していくために話し合いを多く持つ。 3、園内研修を充実する（他の園のオンライン研修等も活用させてもらう）	☆研修にはなるべく多く参加出来るようにした。また他の園のオンライン研修を利用させてもらったり、メールで届いた無料オンライン研修に参加もしてみた。感染のせいで参加できなかった時もあったが、勉強したことは他の職員に報告をしてみんなの知識になるように話し合いの機会を多く持った。 ☆休憩時間を利用し、園児達の特徴を共有、認識しながらこれからの保育に活かした。とても有意義な話し合いが多く持てたと思う。
4、働き方改革と処遇改善	1、年休の積極的取得推進 ・自分の取りたい時に取得できるような職員体制を考えていく。 2、事務時間の確保・休憩時間の確保 ・事務所・給湯室の環境の見直しをし、職員が時には個別にゆっくり事務時間や休憩を取れるような環境を作る。	☆有給休暇の取得は全員が10日以上取得した。自分の取りたいときに取れるようお互い様の気持ちでみんなでカバーすることが出来たと思う。 ☆事務時間はリーダーの采配によって公平に確実に取得することが出来たと思う。
5、施設改修等	1、「環境向上事業」の活用 ・遊具や室内環境を見直し、必要な物の購入を検討する。 2、夏の水遊びの体制の改善・工夫（昨年の事例を参考に）	☆環境向上事業を利用し、遊具や絵本を購入し、遊びの充実を図ることができた。購入したが、あまり使わないものもあって、申し少し慎重に考えれば良かった物品もあった。 ☆夏の水遊びは、例年通りホクタテさんの駐車場をお借りした。準備の為に、子どもが安全に楽しく活動できるように、前年度のやり方を職員で検討し、他の方法を考えホクタテさんに相談することによって、必要な用具を揃えていただくことも出来、効率よく出来るようになった。
6、その他	1、石金こども園・下堀こども園との連携の強化（役割分担の明確化） 2、福利厚生の実施 3、コロナ禍においての衛生面のさらなる強化 4、小規模3ヶ園での連携・情報交換	☆給食の移行状況を連携園とやり取りをししっかりと行った。 ☆土曜保育利用の園児は石金利用ということで、きぼうの職員がおらず、連絡はしっかりやっていたつもりだったが、うまくいかないこともあり反省点であった。 ☆職員不足になった際に下堀に協力をしてもらうこともあり、大変助かった。 ☆消毒等の衛生面において徹底を図っていたが、新型コロナウィルスと胃腸炎がほぼ全員に感染した事例が2回あったので、ワンフロアの生活の中で、もっと徹底が必要だと実感した。 ☆今年度初めて「わかばさくらんぼ園」と保育方針、反省を一緒に行い、同じ小規模同士の共通の話題が多く有意義な話し合いが出来た。

令和４年度 事業報告 きぼう保育園

- ４月 お花見
 ５月 園外保育（わかばさくらんぼ園と合同）
 ７月 セタの集い 水遊び 保育参加（新型コロナウイルス感染の為延期）
 ８月 水遊び
 ９月 園外保育（四季防災館・市電に乗って牛島公園）
 １０月 ハロウィンパーティー 保育参加
 １２月 クリスマス会
 １月 新年お楽しみ会
 ２月 節分の集い 災害時引き渡し訓練
 ３月 ひな祭りの集い、災害時総合訓練（ホクタテさんと合同で）
 お別れ園外保育（布瀬南公園） おわかれ会（２歳児保護者招待）

◇子どもの人数◇

	０歳児 地域枠	０歳児 従業員枠	１歳児 地域枠	１歳児 従業員枠	２歳児 地域枠	２歳児 従業員枠	計	延長 保育	一時 保育
４月	０	０	１	４	２	０	７	０	０
５月	０	０	１	４	２	０	７	０	０
６月	０	０	１	４	２	０	７	０	１２
７月	１	０	１	４	３	０	９	０	１２
８月	１	１	１	４	３	０	１０	０	１
９月	１	１	１	４	３	０	１０	１	５
１０月	２	１	１	４	２	０	１０	２	５
１１月	２	１	１	４	２	０	１０	５	８
１２月	２	１	１	４	２	０	１０	１７	３
１月	３	１	１	４	２	０	１１	１３	４
２月	３	２	１	４	２	０	１２	１７	４
３月	３	２	１	４	２	０	１２	２４	３
計	１８	１０	１２	４８	２７	０	１１５	７９	５７

前年度	１２	３５	３６	０	１２	１２	１０７	０	５
前年比	６	-２５	-２４	４８	１５	-１２	８	７９	５２

ねらい	施策	到達点
1、質の高い保育の実現のために	※保育の質を高めよう - 健康と安全に留意し、家庭的な雰囲気の中で温かい保育を目指し、子ども一人一人に応じたきめ細かい保育を目指す。 0,1,2歳児の異年齢の子ども達がそれぞれの生活に無理のないように過ごす工夫をする。 - ICT化の中で医療機器を用いた『ルクミー午睡センサー』を使用し、子どもの睡眠時の安全を守る。 ※保護者支援 - 保護者の気持ちや悩みに寄りの添い、共に子育てをし、共に育ちあう保育を目指す。	※一人一人の発達や個性を大切にしながら、きめ細かな温かい保育を園全体で行うことができた。大きな怪我もなく、危険と思われる事案が起きた時は、直ぐにヒアリング会議を開き、安全な保育に努めた。年齢幅の違いを考え、保育環境の見直しや工夫も話し合いを重ねることで全職員が同じ目的、同じ思いで保育ができたように思う。 0.1歳児には、午睡時にチェックセンサーを付け、「ITの目」「人の目」の両方で大切な命を守ることができた。 ※送迎時に保護者と話すことができる環境の中、保護者との対話を大切に。子どもの姿を通して共感しあえる関係性ができたと感じている。
2、施設の役割・あり方	※地域との交流 さくらビル内の方や地域の方と挨拶を交わし、地域に根ざした保育園を作る。	※散歩は城址公園や噴水公園、愛宕近くの公園などに出掛けた。近くにNHKや富山駅が南北開通したことで、随分お散歩に出かける選択肢が増えた。 さくらビル内のエントランスで遊ぶ機会を作ったことで、同ビル内に勤務する方々から声を掛けてもう機会が増えた。温かく見守って頂いていることを日々感じている。
3、人材育成・研修	※職員との信頼関係を大切にする。 ※個人面談の機会を多く持つ。 ※会議の充実	- 職員との関係性が心の安定につながると考え、個人面談の機会を多く持つことができた。改善できることは職員間で話し合い、解決できるようにした。 - 毎月の職場会議や保育の悩みなど、話し合いを頻繁に行うことで、保育を見つめ直すことができた。 - 研修はzoomやリモートが多く、ワークブースで、研修が受けられたことは良かった。
4、働き方改革と処遇改善	※年次有給休暇の積極的取得推進 ※事務時間の確保 ※休憩時間の確保	- 年次有給休暇は概ね取得できたと感じている。 - 休憩や事務時間はさくらビル内の『ワークブース』で取ることができ、ノンコンタクトタイムの導入がしっかりできた。心の安定につながったと思う。
5、施設内の充実	※ホクタテさんとの円滑な関係性 ※駐車場問題	- ホクタテ関係者の方とは、入所状況や室内環境など定期的に情報を知らせたことで関係性は良好だった。 - ホクタテさんに駐車場の問題（コインパーキング利用）を提起したところ、解決することができた。
6、その他	※石金こども園との連携強化 ※小規模園同士の連携強化 ※ホクタテ関係者との話し合い	- 石金こども園から看護師の来訪があり、嘔吐処理のやり方が学べた。また、給食室との連携もできたと思う。 - 今年度は、小規模園同士の保育方針、保育反省が実現し、同じ境遇だからこそ分かり合えることが多くあった。実りある話し合いができた。また、近くにできた同じ小規模園（にこっと園）の交流も実現できた。

令和4年度 事業報告 わかばさくらんぼ園

- 4月 お花見散歩
- 5月 検尿検査・内科検診・園外保育（奥田公園）
- 6月 歯科検診・ファミリーデー
- 7月 セタの集い・水遊び・Sakura ビル自衛消防訓練
- 8月 水遊び・夏まつりごっこ
- 10月 歯科検診・内科検診・運動ごっこ・園外保育（県総合運動公園）
ハロウィンパーティー
（Sakura ビル内管理人・アピアスポーツセンター・ホクタテ関連事務所に訪問）
- 12月 クリスマス会 （ホクタテ PPP 担当 部長さんとの交流）・災害時引き渡し訓練
- 1月 新年お楽しみ会・お店屋さんごっこ・個別懇談会
- 2月 節分の集い
- 3月 ひな祭り会・石金2歳児クラスとの交流会・お別れお楽しみ会

◇ 令和4年度 児童在籍の実績数 ◇

	0歳児	1歳児	2歳児	計	延長 保育	一時 保育
4月	0	4	4	8	5	0
5月	0	4	4	8	2	2
6月	1	4	5	10	0	0
7月	1	4	4	9	1	0
8月	2	4	3	9	0	3
9月	3	4	3	10	0	0
10月	3	4	3	10	1	0
11月	3	3	3	9	0	0
12月	3	3	3	9	0	1
1月	4	3	3	10	1	0
2月	4	3	3	10	1	3
3月	4	3	3	10	0	0
計	28	43	41	112	11	9

令和4年度 事業報告

わかば学童クラブ堀川園

◎基本方針に対する到達状況

- One for all All for one ほっとできるぼくわたしの第2の家～こどもが輝くような保育～
- 1、 ほっと安心できる学童 ～「ただいま!」「おかえり!」を大切に～
 - 2、 小学生の喜ぶ遊びの充実 ～自分たちで作る楽しみを!～
 - 3、 安全な環境づくり ～室内外の環境の見直し・下校指導～
 - 4、 個別に対応が必要な児童に対する適切な関わり ～安心して過ごせる空間に～
 - 5、 保護者が安心して就労できる学童 ～何でも話し合える信頼関係を～



1年間の生活や遊びを通して、1～3年生が学年関係なくサッカー、鬼ごっこ、ドッジボール、卓球などの身体を動かす遊びを楽しむ姿がみられた。また令和4年度は堀川園の建て直しがあったためわかば学童クラブ下堀園で過ごすことになり、他の小学校の子どもたちとの関わりもみられた。行事では、3年生が中心となってクリスマス会やハロウィンパーティーなどを実行でき主催する側も参加する側も楽しみになる活動になった。生活をする上でのトラブルやルールなどは、その都度、子どもたちと一緒に考える時間を設けるようにした。

小学校や保護者の方とは密に連携を取った。保護者や担任同士の情報共有や共通理解を心がけることで、よりよい保育や保護者の方々との信頼関係を築くことができた。

◎事業報告

- 4月 1年生歓迎会、交通安全指導
- 5月 園外保育（太閤山ランド）
- 8月 プールあそび、園外保育（ひらりんの森）（※キャンプ中止1泊2日立少）
- 9月 堀川園建て直しのため、わかば学童クラブ下堀園で過ごす
- 10月 ハロウィンパーティー、ハロウィン縁日、園外保育（科学博物館、埋蔵文化財センター）
- 11月 下堀園とプチ運動会
- 12月 クリスマス会、大掃除
- 1月 冬の遠足（立山青少年自然の家）、新年お楽しみ会
- 2月 園外保育（こどもみらい館）

◎校下別利用人数

	1年	2年	3年	車利用	合計
蜷川	14	14	14	無	42
その他	1	5	1	無	7
合計	15	19	15		49

◎利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	30	24	28	28	26	27	26	29	29	25	26	29	327
延べ利用人数	646	622	703	618	561	585	585	565	535	507	498	619	7044
登録人数	49	48	48	51	51	51	51	50	50	50	50	49	598

令和4年度 事業報告

わかば学童クラブはりはら園

基本方針に対する到達状況

『令和4年度 基本方針』

- 自分の家にいるようにくつろぎ、自分の素の姿が出せる場所になるように
- 友達との遊びを通して、楽しいなと感じること、負けて悔しい思い、失敗してしまったこと全部が“学び”に繋がるように
- 思いきり体を動かし、興味関心をもったことが経験できる「あそびの場」となるように



年度当初は、新しい環境に期待を持ち、遊びや生活を楽しんで過ごす子が多く見られた。なかには、初めての環境で不安そうに過ごす子や友達の輪に入れず戸惑っている子もいた。まずは、担任と信頼関係を築けるように1対1の関わりを多く取るように心がけた。学童で過ごすことに慣れてくると、気の合う友達もでき遊ぶ姿もたくさん見られるようになっていった。

年間を通して自分のやりたいことが思う存分でき、遊びが発展していくように、環境面を整えるようにした。体を動かすことが大好きな子ども達ばかりなので、晴れている日には外で、サッカー・ドッジボールや集団ゲーム等で楽しんでいた。1年通して盛り上がったのはドッジボールで、盛り上がるとトラブルになることもあったが、子ども同士で話し合っ規則を確認したり、原因を解決したりしてすることで、一緒に楽しむ姿が見られるようになった。雨天時は、いろいろな制作遊びや、ボードゲームなどをしたりして、室内でも遊べるようにした。また、廃材遊びが好きな子ども達は、自分たちの経験や体験したことからいろいろなものを作った。数人で協力してビー玉転がしやカプラを作って楽しんで遊んでいた。

平日や長期休み等、複数の学校、学年、いろいろな性格の子がいる中で、2・3年生がリーダーシップをとってくれたり、勉強を教えてくれたりしている。学童で過ごしている中で、下級生、上級生関係なく誰かが困っていたり、元気がなかったりすると、気にかけて声をかける姿がみられた。

お迎えの際は、「おかえりなさい。」と声をかけて保護者にとって話しやすい雰囲気作りに配慮し、子どもの様子を伝え、学校や家庭での様子を聞くようにしていった。子どもたちや保護者にも寄り添えるように話しかけていくことで保護者との信頼関係も築くことように心がけた。

◎事業報告

- 4月 園外保育(岩瀬スポーツ公園)
- 5月 園外保育(ひらりんの森)
- 8月 夏まつり・園外保育(婦中町ひまわり畑)
- 10月 園外保育(太閤山ランド)ハロウィンパーティ
- 12月 クリスマス会
- 1月 冬の遠足・新年お楽しみ会
- 2月 節分のつどい・すもう大会
- 3月 ひな祭り・お別れ会

◎利用状況

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
584	551	608	448	527	450	545	506	494	448	385	562	6,108

令和4年度 事業報告

わかば学童クラブ下堀園

◎基本方針に対する到達状況

～安心・安全な学童クラブを目指して～

- 1、 ほっと安心でき楽しい学童 ～「ただいま!」「おかえり!」を大切に～
- 2、 小学生の喜ぶ遊びの充実 ～自分たちで作る楽しみを!～
- 3、 安全な環境づくり ～安全で過ごしやすい居場所に～ ～帰り道に気を付けて!～
- 4、 個別に対応が必要な児童に対する適切な関わり ～安心して過ごせる空間に～
- 5、 保護者が安心して就労できる学童 ～何でも話し合える信頼関係を～



コロナ禍の保育3年目となる今年度も、一人ひとりの情緒の安定と感動体験の共有を大切に保育を行ってきた。中止となった夏のキャンプの代わりに秋キャンプを実施し、秋以降に園舎2階を使われている堀川園とミニ運動会で交流するなど、放課後健全育成の意義を再発見する1年間であった。また、クリスマスコンサートやお店屋さん遊びを通じてこども園の園児とのふれあいの機会を持つこともでき、2月のお手伝い月間ではこども園の職員の手伝いをする場面も設け、下堀こども園全体で小学生の育ちを支える実感を得られた。

令和5年度の高学年受け入れに対しては、個別懇談会やアンケート等により保護者とともに放課後保育のあり方を検討した。

◎事業報告

- 4月 春のお楽しみ会、園外保育（花見）、交通安全指導
- 5月 春の遠足（稲荷公園）、野菜苗植え（きゅうり）
- 6月 制作週間、保健指導（熱中症）
- 7月 こどもみらい館プレーバス造形教室、水遊び
- 8月 水遊び、ビーチバカンスごっこ、映画会、ナイトウォーク、夏まつり
※中止 園外保育（まんだら遊苑）、
※中止 やまびこキャンプ（1泊2日 立山青少年自然の家）
- 9月 個別懇談会（希望制）
- 10月 秋の遠足（太閤山ランドこどもみらい館）、ハロウィンパーティー
秋キャンプ（1泊2日 立山青少年自然の家）
- 11月 ミニ運動会
- 12月 クリスマスコンサート
- 1月 新年お楽しみ会、雪遊び遠足（立山青少年自然の家）
- 2月 節分、ハローワークプロジェクト（お手伝い月間）、保健指導（手洗い）
- 3月 ひなまつり、お別れ会、園外保育（布瀬公園）

登録人数 ; 令和4年4月現在 ※（ ）内は年度末人数

	1年生	2年生	3年生	合計
4月1日	19（17）	17（17）	16（16）	52（51）

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設 日数	25	23	26	25	26	24	25	24	25	23	22	25	295
延べ 利用 人数	743	679	762	695	658	625	741	588	651	577	442	704	7865
登録 人数	52	51	51	51	52	52	52	52	52	51	51	51	618

令和4年度 事業報告

わかば子育て支援センター

(1) 子育て親子の交流の場（サロン）の提供

- ・ 利用者が安心して子どもを遊ばせることができる清潔で安全な場。
- ・ 年齢や発達、興味に応じた環境（遊具）の設定
- ・ 身近な材料を使用した手作り玩具の提案、作り方の手順と材料の設置
- ・ 子育て情報や周辺地域などの暮らしに役立つ情報の提供
- ・ 子どもが来館を喜ぶような企画実施
※例…からだを動かそう企画（トンネル、サーキットコーナー、垂直タッチ、でこぼこ道）
クリスマス企画（ふわふわマット&雪だるまコーナー、クリスマスツリー作り、楽器遊びコーナー）
春おめでとう企画（お雛様を完成させようボード、くぐって遊ぼうコーナー、桜を眺めようお立ち台）など
- ・ 子育てに関する相談
- ・ 親子サークル月に5回（あんよの頃2部制、はいはいの頃2部制、ねんねの頃1部制）
- ・ マタニティーサークル 年6回開催/うち2回参加者あり
- ・ すくすくタイム（戸外活動）年2回開催
- ・ 身体計測、発育相談【3日間実施】の実施

(2) 子育て等に関する相談、援助の実施

食事

- ・ 離乳食を食べないのに保健師さんから「もう3回食にした方がいい」と言われ、出来ないことがつらい。離乳食のメニューについて。1日に4回くらいは吐き戻しをしてしまう。離乳食の進め方。2回食の量はどのくらいあげたらよいか。食欲があり、いつまでも食べたがる。「ごちそうさま」のタイミングに悩む。ミルクも母乳もあまり飲んでくれないので体重が増えない。食事中に椅子に座っていてくれる時間が短い。など

睡眠

- ・ 夜泣きが何度もあり眠れない時はつらい。夜泣きはいつまで続くのか。昼寝の時間が定まらない。夕方に眠ることが多く生活のリズムが崩れて困る。など

排泄

- ・ 便秘症でおならが出やすく排便が3日に1回しか無い。離乳食をよく食べ、1日に7回便が出る。布オムツについて。など

しつけ

- ・ 歯磨きの仕方について。食事中座ってくれない。買い物時のお菓子のおねだりをどのように我慢させたらよいか。お菓子の買い与え方について。スマホを欲しがって困る。買い物に行くと駄々をこねてひっくり返る。食事中に椅子に足を立てて立とうとする。など

発育・発達

- ・ 1歳半健診で言葉の発達やや遅いと言われ不安。言葉があまり出ない。いやいや期はいつごろから来るのか。お座り姿勢で遊ぶことが多く全身を使って遊ばせることができない。など

性格・癖

- ・ 指吸について。左利きはいつ頃決まるのか。自分の顔を触る癖がある。など

病気・予防接種

- ・ じんましんになり体に合う薬を探している。爪の生え方がおかしい。家庭で子どもが嘔吐した場合の処理の仕方。手足口病の症状について。など

育児不安

- ・ 家の中で思い通りにならないと頭をぶつけるほど暴れてしまう。2人の子育てが大変。仕事復帰するが入園や子どものことが不安で仕方がない。落ち着きのなさが気になる。実母から子育ての仕方に問題があると指摘されている。2人の育児が限界。上の子を園に預けようか悩んでいる。上の子（園児）に愛情を持って関われない。我が子がこだわり強い気がする。自分が睡眠不足で辛い。高齢出産し他のママたちとどう話していいかわからない。病院で発達の気がかりを指摘され、障害があるのかと急に不安になった。頑張りすぎてきたのか急に強い不安感に襲われ、手が震え涙が出る。

育児方法

- ・ 家で何をして遊んであげたら良いか。上の子が下の子の玩具を全て取り上げ貸してくれない。雨の日の買い物で子ども2人を連れていくが大変。兄弟2人の生活リズムが違うので大変。イライラした時の対処法。卒乳や断乳について。スプーンの持ち方はどのように教えるのか。鼻が詰まっているときはどうすればよいか。歯みがきを嫌がりさせてくれない。ロンパースの肌着から上下別の肌着へ移行するタイミング。就寝中の暖房、冬季の間の就寝時の服装について。ベビーベッドで寝かせているが、今後成長に合わせどうしていけばよいか。夜間断乳を成功させたい。歯磨きの仕方について。など

友達関係

- ・ 友達の持っている玩具ばかり欲しがってしまう。玩具の貸し借りについて。みんなの輪に入れず、サークル中など迷惑をかけてしまうのが心配。人見知りやひどく、集団でやっていけるか心配。など

兄弟関係

- ・ 上の子が下の子に行く攻撃的な行動にどう対応したらよいか。兄弟げんかの仲介の仕方。など

入園・入所・一時預かり

- ・ 一時保育についてなど

保育園・幼稚園

- ・ 保育園の選び方。コロナ禍での園行事について。上の子の園に対しモヤモヤする。病児保育と病後児保育の違いについて。保育園での病気対応について。

その他

- ・ 家の中の安全面について。布オムツと紙オムツのメリットとデメリット。夏休みの過ごし方。夏の遊び場はどんなところがあるか。家庭でのこと（夫の子育て不参加の態度、義理の父母の存在）でストレスが溜まる。加配制度について。働き方について悩んでいる。保護者同士の関わり方が難しい。など

(3) 地域の子育て関連情報の提供

- ・ わかば子育て支援センターの行事予定表の提供（HP、保育園舎外の掲示板掲示、施設内掲示、センター内予定表配布）
- ・ イベントのポスター掲示、チラシ、ハッピーママ無料配布分、その他子育て情報機関発行のチラシ
- ・ 富山市の子育て支援情報提供（病児保育、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、ウエルカムベビーおむつ事業他）
- ・ 富山市、近隣市町村の公園施設や屋内施設情報
- ・ 地域で活動中の親子サークル「かがやきキッズ」「ハッピーキッズ」、「蜷川ふれあいこども食堂」の情報提供
- ・ わかば子育て情報支援センター登録者へ毎週の感染症情報、不審者情報、毎月イベント情報、子育て支援情報などの情報メール配信

(4) 子育て支援に関する講習等の実施

子育て講座

- ・ 6月16日『歯のはなし』 講師：歯科衛生士 山田尚代さん
- ・ 11月17日『親子でゆったりエクササイズ&美容体操』講師：江崎ダンスカンパニー副主宰 江崎雅子先生
- ・ 11月24日『親子でゆったりエクササイズ&美容体操』講師：江崎ダンスカンパニー副主宰 江崎雅子先生
- ・ 12月13日『離乳食 食べて元気にすくすく（初期～中期）』講師：わかば保育園 管理栄養士
- ・ 2月10日『離乳食 食べて元気にすくすく（初期～後期）』講師：わかば保育園 管理栄養士
- ・ 3月10日『おはなしの会』 講師：富山市立図書館ボランティアさん2名

(5) その他地域支援活動の積極的な実施

- ・堀川南校区自主サークル「かがやきキッズ」への保育の出前
6月17日（金） 10:00～11:30
12月15日（木） 10:00～11:30
3月17日（木） 10:00～11:30

6 添付書類



5月、10月すくすくひろば（戸外活動）

6月 子育て講座『歯のはなし』
講師：歯科衛生士 山田 尚代さん



▲ご夫婦2組 計4名 ▲母親2組 計2名
マタニティーひろば 6回開催中2回参加者あり

3月子育て講座『おはなしの会』
講師：富山市立図書館ボランティアさん



12月、2月子育て講座 『離乳食 食べて元気にすくすく（初期～中期）』
講師：わかば保育園 管理栄養士

令和4年度 事業実績数

わかば子育て支援センター

	利用者総数	講座・セミナー 参加者	その他の行事	相談件数	保育の出前	出前参加人数
4月	319	0	72	30	0	0
5月	449	0	92	31	0	0
6月	555	12	77	40	1	23
7月	500	0	78	30	0	0
8月	325	0	32	22	0	0
9月	481	0	89	24	0	0
10月	453	0	119	26	0	0
11月	434	20	70	34	0	0
12月	438	6	85	29	1	30
1月	467	0	85	32	0	0
2月	518	6	90	26	0	0
3月	647	10	123	30	1	31
計	5,586	54	1,012	354	3	84

前年度	5,157	51	981	362	0	0
比	429	3	31	-8	3	84